



学校教育目標 「一人ひとりが主役となり 輝き続ける学校」

重点目標 全ての子ども達・教職員・保護者・地域が”安心できる”学校づくりを目指します。

Power UP

「安心できる」学校

Smile UP

- 学習する子 ●よく考える子
- 思いやりのある子
- 自律ができる子

Heart UP

◆数値目標◆

- 学校が楽しい……………93%
- 授業が楽しい……………95%
- 先生は相談にのってくれる……………90%
- いじめに向き合い取組んでいる……………96%
- 自分には良いところがある……………86%
- 自分を認めてくれる人がいる……………90%
- 仲良くしている友達がいる……………95%



【1. 認知能力と非認知能力の向上】

- (1) 授業力の向上(校内研修の充実)
- 基礎基本の学習の確立
 - 学力向上プランのPDCAサイクル
 - Hirakataスタンダード(5C視点)の定着
 - ICTスキルの向上
 - 系統性を意識した授業づくり
 - 探求学習・問題解決学習(PBL)の定着

(2) 学習集団の育成

- 学習規律の確立
- ペア・グループ学習の活用
- 自学自習力・家庭学習の育成
- 「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現

(3) 教育課程についての研究

- 学習指導要領の定着 (ICT活用)
- 道徳科・外国語科活動の推進
- 食育・健康教育の推進

(4) ICT活用の研究と推進

- AIDリルの推進(まなびポケット・ナビマ・リタリコ)
- 情報活用能力の育成(情報リテラシー)

(5) 体力向上の方策

- 系統的な体育の授業の推進
- 「外遊び」の奨励

(6) 小中連携事業

- 合同研修会の実施(学力・サービス・支援教育)
- 生徒指導連携
- 教育相談体制の充実



【2. 人権教育の充実】

- 教職員の人権意識の向上
- 児童の実態把握と細やかな指導
- いじめ問題に向き合う姿勢と迅速な組織的対応

【3. 道徳教育の充実】

- 副教材の活用
- 指導方法の工夫改善
- 地域・保護者と連携し「心の教育」を推進



【4. 生徒指導の充実】

- 組織体制の確立
- 「生徒指導提要」「いじめ防止基本方針」に基づく対応
- 関係機関との連携
- 未然防止の取組み(授業・集団づくり)
- 「自己有用感」の育む環境

【5. 特別支援教育の充実】

- 挨拶・掃除・整理整頓の徹底
- 安全指導の充実
- 集団生活のマナー(言葉づかい)の指導



【6. 特別支援教育の充実】

- インクルーシブ教育の理念を踏まえた校内体制
- 「ともに学び、ともに育つ」支援教育の推進
- 校内研修の充実より教職員の専門性を図る

【7. コミュニティスクールの推進】

- 地域の教育力を学校教育教育に生かす
- オープンスクールの実施
- 地域行事・地域パトロールへの参加
- 地域人材による学校教育への協力



フラワー
ねっこ

小さな頑張り
を積み重ねて、
自信をつけ、
友だちと自分を
認められるよう
にしよう。

1年生
よーいどん

げんきいっぱい
よーいどん!
にこにこえがお
よーいどん!

2年生
のびーる

だれにでも
しんせつに
どんなことにも
まえむきに!

3年生
協力の輪

友達と力を
合わせ、
できる事を
ふやしていこう!

4年生
継続は力

仲良くする事
思いやる事
勉強にはげむ事を
続けていこう!

5年生
魅(み)せる

1年間でさらに
魅力的な人に
成長してほしい、
その姿を
周りに魅せて
いってほしい。

6年生
繋(つな)ぐ
~361°の一步~

人と人を繋ぐ、
思いを繋ぐ、
学びを繋ぐ、
そんな「繋ぐ」事
ができる
人になろう!

院内
きらきら

学年も性格も住
む所も違う子ど
も達の出会いを
大切にしよう。
そして、一人ひと
りの良さを認め
合い輝ける場所
にしよう!

笑顔の学校プロジェクト(働きやすさ推進)

「えがおのでんぱ」

「働きやすさ」の取組み8点の充実を図ります。

「わかる授業」「たのしいクラス」「環境整備」

「相談体制の充実」「同僚性の向上」「人的サポート」

「心と体の健康」「保護者・地域の協力」

【桜丘北小では5つのいじめ防止の取組みを推進しています。】

1. 軽微ないじめも見逃しません。

2. 教員一人では対応せず、学校組織一丸となって取組みます。

3. 相談しやすい環境の中で、いじめから子どもを守り通します。

4. 子ども達自身が、いじめについて考え、行動できるようにします。

5. 保護者の理解と協力を得て、いじめの解決を図ります。